

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	12 月	12 日	記入者	前田景子	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	山口のツルマンリョウ群落					
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input checked="" type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1953年(昭和28)3月23日					
所在地	吉野郡吉野町山口643 高鉾神社境内					
所有者 管理者	高鉾神社					
員数						
時代区分						
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	本殿右前に奈良県教育委員会の説明板設置					
公開	常時公開					
保存状態	<input checked="" type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	高鉾神社境内にあり特に課題は見当たらない。					
今後の課題	蔓状のツルマンリョウがのびのびと広く育っていて赤い実も付けてをいるのを見てこれが見たかったとうれしくなった。あたりの落葉や樹、何もかもが一つの規律のもとに鎮守の杜をなしているように感じた。ただ、しっかり根を張るクマザサも生えており、今後ツルマンリョウを侵しはしないかと気にもなった。鹿の糞も見られ獣の影響も懸念される。現状維持を願うばかりだ。					
その他 (由緒など)	神社南側を通る街道は高見山越えの伊勢街道で、江戸時代はお伊勢参りの人で賑わった。また、紀州藩の参勤交代の道でもあり、代々の紀州藩主は参勤交代の途中必ず、長旅の安全を祈って参詣し、八代将軍・吉宗は拝殿前の燈籠一対を寄進している。					
コメント	境内の照葉樹林(椎や檜、楠など)の林床に育つツルマンリョウ群落は見ごたえがある。吉野町妹山の山頂付近にも群落があるとされているが立ち入ることが出来なく、東吉野や宇陀にも群生地はあるがこんなにも見られない。この高鉾神社境内が県内一番のスポットだ。地域の方の手入れも程よく、境内の多種類の樹とのバランスがうまく取れている杜がツルマンリョウを守っている。					

